

編集発行

カトリック一宮教会事務局広報委員会

〒491-0044 一宮市大宮1-7-1

TEL (0586) 73-4884

FAX (0586) 59-5884

ホームページ版



ロザリオの思い出

主任司祭 太田 実

10月はロザリオの月とされています。中央協議会のホームページでは次のように説明されています。

ロザリオの信心は、聖ドミニコ(1170～1221)が異端と戦っている時、聖母マリアからの啓示を受けたのが始まりだとされています。さらにドミニコ会士らがこの信心の普及に尽くしたことも大きいようです。一定の形式の祈りを連続して唱える修道会での習慣が何時でも、何処でも、誰とでも自由な形でできることから次第に信徒の中に浸透してきたと考えられます。10月7日は「ロザリオの聖母」の記念日ですが、これは1571年のギリシア・レパントの海戦でキリスト教徒がオスマン・トルコ軍に対して勝利を収めたことを記念して、聖ピオ五世教皇(1566～1572)によって定められました。この勝利は、ロザリオの祈りによってもたらされた聖母の助けによるものであると信じられています。またレオ十三教皇(1878～1903)は10月を「ロザリオの月」と決めました。

「ロザリオの聖母」の記念日の由来はともかく、ロザリオは誰でも、いつでも、どこでも手に取って祈ることができる信心用具だと思います。

子どもの頃怖い夢を見て、母親が寝ているところに行き、「何かが襲って来る」と訴えると、母親が「その何かとイエス様やマリア様とどちらが強いと思うか」と訊きました。「イエス様やマリア様だと思う」と答えると、母親は私にロザリオを握らせ、「ロザリオの祈りをしたらイエス様やマリア様が守ってくれるよ」と言いました。

私の家では、家庭祭壇がある部屋で「夕の祈り」を家族全員で、文語で唱えていました。その後、ロザリオの祈りの三つの玄義の一つを一環唱えます。途中で眠くなるのですが、終わるまではその部屋にいなければなりませんでした。

ロザリオの祈りは私にとってもなじみ深いものでしたから、真っ暗な部屋で布団の中で

ロザリオの祈りを唱え出すと、さっきまで怖さで荒くなっていた呼吸が整ってきて、やがていつの間にか寝てしまいました。

そのときから、不安や心配事で眠れないときはロザリオの祈りを唱えるようになりました。ロザリオの祈りは、病院や施設で消灯になった後でも、唱えることができます。また、ロザリオの珠を握ることで気持ちが落ち着きます。

先輩の神父様が、入院中の医療センターで危篤になったと、姪御さんから朝の4時頃電話がかかりました。さっそく医療センターに出かけ、姪御さんと一緒にロザリオを唱えている間に、神父様は神様のもとに召されました。

一宮教会ではお葬式の時、木でできたロザリオを二本用意し、一本はご遺体の手に握らせ、もう一本は喪主の方にお持ち頂いて、思い出すたびにロザリオの祈りをなさるようお勧めしています。

いまわの時には、「神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、今も、死を迎える時も、お祈りください。」と共に祈りたいです。



敬老祝福式

9月18日(日)10時のミサで敬老の特別祝福が行われました。
今年75歳の方には記念品と松浦司教様からの祝福カードが贈られました。

今年75歳になられたのは以下の方々です(敬称略)。

印刷版に掲載しています。



平和旬間「おりづる」のご報告

社会委員長 曾我久子

一宮教会では今年度の平和旬間(8月6日～8月15日)行事として、「ウクライナの平和」のために祈りました。その祈りの一つとして、皆さんに「おりづる」を折っていただきました。折紙はウクライナの国旗の青色と黄色の2色に限定し、折紙の裏面には、各自が自分の言葉で「ウクライナの平和」のための祈りを書きました。8月14日10時のミサで、聖堂いっぱいの方々の中、小学生男女2人がウクライナの国旗にみたてた額と皆さんに折っていただいた「おりづる」を奉納しました。これらの「おりづる」は8月28日まで祭壇前に捧げました。

7月初め、フィリピンやベトナムグループをはじめ信徒の皆さんに、「おりづる」を呼びかけてお願いしました。「おりづる」経験のない外国人グループの人たちにも参加してもらえたらと、折り方のサンプルと折り方が分かるコピーを聖堂前に用意しました。主日ミサごとに、「おりづる」はどんどん集まってきました。

ひとりのベトナムの少女はサンプルの前で一生懸命折っていました。ある熟年の女性は「年齢分だけ折ったわよ」と声をかけてくれました。思わず「そんなに！」と返事をしました。教会に来るたびに用意してある折紙を数枚ずつ持ち帰り、家で折ってきてくれた小学生、紙袋から「おりづる」をドドッと回収箱に入れていた男性、コロナのために教会に行けないからと郵送で届けてくれた人、「ウクライナ国旗おりづる」だと言って、1羽の「おりづる」に青色と黄色の折紙2色を合わせて折ってくれた人たちがいました。ベトナムの青年は、ネットで「おりづる」のサンプルを拡散してくれました。



お一人一人が「ウクライナの平和」を願って折ってくださった「おりづる」は、全部で1343羽となりました。皆さんのご協力に、あらためて感謝申し上げます。

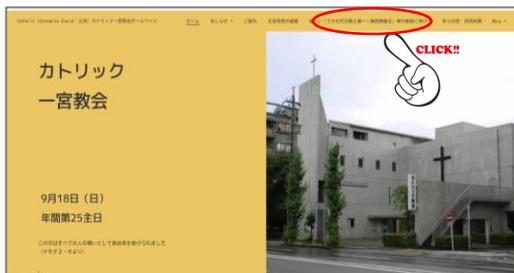
ウクライナでの戦争が始まって半年たちましたが一向に終息しそうもありません。嘆き苦しんでいる人々や無残に破壊された町々の映像に言葉を失うばかりです。それでも私たちの祈りが聞き届けられることを信じて、これからも祈りと支援をしまいましょう。

今、世界の人口の7割が独裁政権下にあり、難民は1億人とされています。エチオピア、ケニア、ソマリアでは干ばつで子どもたちが栄養不良に陥っているといわれています。これら世界各地で苦しんでいる人たちへのお祈りとご支援も、よろしく願いいたします。



事務局よりお知らせ

新しい式次第の本が届きました。注文した方は、代金と引き換えに事務所で受け取り下さい。一宮教会公式ホームページから式次第をダウンロードすることができますので、こちらもご利用下さい。



訃報



(今伊勢地区)

印刷版に掲載しています

2022年5月30日帰天

永遠の安息をお祈りいたします

2022年10月のミサの意向 (9月30日までの申し込み分)

10月1日 (土) 18:30	印刷版に掲載しています。 教会入口のスタンドにあります
10月2日 (日) 8:00	
10月4日 (火) 7:00	
10月9日 (日) 8:00	
10月16日 (日) 8:00	
10月23日 (日) 8:00	
10月30日 (日) 8:00	